事業多角化加速 トG、

と、3人の役割分担に CEO これからの時 重要という意識のも 成し遂げるチーム力が 集結して大きなことを 代、一人ひとりの力を と、父 (現会長) が65

COO 私は全部門の 歳になるタイミングで 社全体の成長戦略やガ 表の形をとりました。 担当します。 ス、そして新規事業を バナンス、ファイナン 私はCEOとして、会 体制に移行し、3代 えます。 の思いや現場の努力を ブランディング、また 長のための仕組みを整 可視化し、持続的な成 組織としてのガバナン



と情報の流れを管理・ | CMO 私の担当分野 設計する領域で、会社 情報システムです。人 います。 社の責任者も担当して を整え、エンゲージメ は、営業、採用、広報、 ントを高めていく役割 を担います。また、本 大川寛正代表取締役CEO として、責任感ややり ジャー会議などの議決 取締役会、執行役員会 CEO 我々は3代表 という考えです。 議、エリアマネー くりも進めています。 ディングができていく 職に合わせた仕組みづ するのは、ステークホ がいを持てるよう各役 セスの中で、ブラン と。誠実な行動の積み つひとつ守っていくこ ルダーとの約束事を一 にしています。ブラン 発揮できるような体制 重ねを大切にするプロ ディングの観点で重視

での信頼関係にあり、 ていく方針でしょうか スをどのように確立し -家族経営の強みと 強みは兄弟間 CEO 当グループ全 営計画について聞かせ 体の売上規模は現在約 てください 年に向けては、介護以 割を超えています。30 150億円。介護が8 を見据えた中長期の経 -2030年、40年

を行います。加えて、

兄弟の専門性を最大限

外の比率を増やすべく

KGI・KPIの管理

周辺産業をビジネス化 当社が施設展開するエ 開設しました。今後は 訪問診療を行う「ハー 医療事業では、24年に していきます。例えば -徳島クリニック」を 人口規模100万人以

DX推進プロジェクト

も拡大しており、現在

ICT機器販売事業

開設を進めます。 クと訪問看護事業所の

分担し、テクノロジーの活用や多角的な事業展開を通じて、介護業界の課題 解決と未来創造に挑む。経営戦略と将来ビジョンについて語ってもらった。

長男の大川寛正CEO、次男の大川文也COO、三男の大川翔CMOが役割

ステム(徳島市)は10月、新たな経営体制へと移行した。創業者である大川 則氏が会長となり、3人の兄弟が代表取締役として舵を取る新体制が始動。

創業21年目を迎え、全国で100拠点以上を展開するエクセレントケアシ

リアを中心に、地域の | 開し、今後5年間で50 とグループホームを展 く方針。主に特定施設 億円の売上増を見込ん 上の都市に出店してい でいます。

うに進めていますか COO 以前は役員の したが、3年ほど前に 経営判断で進めていま による効率化はどのよ **-CT活用やDX**

医療機関や法人と連携

して訪問診療クリニッ

減できています。介護



大川翔代表取締役CMO

約20社の販売事業者と | チームを立ち上げ、現 | 効率化では、見守りセ 入居率99%の安定経営 新設とMAで拠点拡大 ます。施設単位の業務 仕組み構築も進めてい 理ソフトを連携させる 記録ソフトと本社の管 るオペレーター制の試 地域でも管理センター 験導入を開始。どこの 業務を1ヵ所に集約す 数の特定施設の見守り 置けば、そこですべて となる1ヵ所の拠点を 管理できるようになる の施設の見守り業務を

一の利用率を8%以上削 | ます。機器活用で効率 バーとで取り組んでい 導入により、今では紙 をしている状況でし た5年前は、ほとんど ントグループに加わっ り、全社的に波及させ どしてモデル施設を作 ジャーらと常設メン 場を知るエリアマネー た。介護記録ソフトの CEO 私がエクセレ ているところです。 の施設が紙で書類管理 化された時間を測るな |ンサーの活用により夜 ています。 間の定期巡回が不要と

を教えてください

と会社の

大川文也代表取締役COO

CEO

れています。空いた時 の減少という効果も表 ンの自費サービスとし 間を活用し、オプショ なり、転倒・骨折件数 い、生産性向上を図っ て個別ケア提供を行

事項も定めて運営して

神奈川、愛知、京都、 当社拠点のある東京、

島など東海道線沿い、

設を除くと99%を維持 設平均で8%。新規施

しています。エリアは、

CEO

入居率は全施

における重点エリアは 入居率と、今後の展開 視野に入れています。 るコンサルティングも

運営施設の現在の

現場を持つ立場とし 連携しています。介護

て、販売事業者に対す

いきます。

| 〇〇〇 バックオフィ を作り、管理ソフトな ス側でもデータベース す。例えば、職員が打 どに集約させていま 刻した勤怠情報を本社 クを取り除き、データ 計算を自動化。管理者 すことで、常勤換算の を見ながら経営指標を の負担と間違えるリス のデータベースに飛ば うになりました。 コントロールできるよ さらに半年前

定着の取り組みや方針 担っていきたいです。 ンターのような役割を 目指して、集中管理セ るような社会づくりを でも安全安心に暮らせ でしょう。将来的には 施設だけでなく、在宅 八材採用・育成・ と思える くなり、 切です。 C M O 門職らしく働ける環境 時間を増やすこと。専 るようになりました。 採用コストも抑えられ ディア が改善されれば、自ず をつくることで離職率 者や家族に向き合える 減によって社員が入居 導入の目的は、工数削 ています。採用力が強 返信できる仕組みとし いきます。 も自動化しており、即 珍しい体制はSNSと す。3兄弟代表という 用で、現在外部の専門 いるのはシェアードメ で、積極的に活用して の相性が良いと思うの を進めているところで 家と組んでSNS戦略 問い合わせへの返信 (SNS) の活 ∂環境構築も大 テクノロジー 1人あたりの 働き続けたい 参画しています。これ | ラットフォーム運営に ついては、在留資格の 合致させる予定です。 機能があれば良いなと チングサービスで、す ボックス」というプ と連携して「マッチ COO また、徳島県 採用でき、全体では現 ます。昨年は30名ほど い合わせで採用につな で専用ページをつくっ ある人を対象にSNS **CMO** 外国人人材に 考えています。高齢者 ンティアマッチングの います。今後は、ボラ は時間単位の仕事マッ 国人が働いています。 在100名を超える外 がるケースが多くあり ており、そこからの問 でに数十社が利用して については

地域間で共存共栄図る で永続性確保

ければならないのは、 だと自負しています。 我々のオウンドメディ 上場企業と比べても、 ジ上での宣伝)の充実。 メディア(ホームペー 的な運用と、オウンド をかけた宣伝)の効率 ペイドメディア(お金 COO 採用でやらな | グとなり、採用につな | には、地域の人の支援 んは遜色しないレベル 合わせ、 護技能認定制度を組み ワード表彰に社内の介 では、 要。現在検討中の施策 ントを高めることも重 がると考えます。 しています。認定制度 評価されることを目指 また、 全社単位のア 頑張る社員が エンゲージメ CEO 今後5年間で と、M&Aの活用につ たい考えです。 要です。徳島県モデル 20施設前後の新設を計 他県でも展開していき で効果を得られれば、 いて聞かせてください を得られる仕組みが必 今後の開設目標

| 課題感を持って | は年度内に評価制度と | 画しています。別途M 多様な人材の確保 ムがターゲットです。 設のあるエリアで、ド に検討を進めており、 安心と笑顔を届ける存 CMO 地域の方々に 聞かせてください 目指す未来像について 定施設やグループホー ミナント戦略として活 &Aについても積極的 用。ノウハウのある特 いる案件もあります。 今年度すでに進行して なお、M&Aは既存施 -最後に、新体制で

のブランディン一で人生を全うするため が自身で選択し最期ま CEO こに任せてよかった」 最先端のDXを通し の「オンリーワン、オ らえる企業にしていき 地域の人々に感じても と社員や利用者・家族、 入ってよかった」「こ 要です。「この会社に を守っていくことが重 めにはブランディング さ・やりがいの発信と していきます。 COO 企業ビジョン も信頼も必要で、約束 在でありたい。そのた きたい。利益を創出す る仕組みをつくってい たいです。 で、多角的に同時進行 現するとは限らないの る事業がビジョンを実 ンリーユー」を実現す 福祉の楽し

て、足を踏み入れる人 会をつくっていく役割 行政と連携して町や社 界観ではなく、地域や けが勝ち抜くような世 を増やしたい。自社だ